



Konrad  
Adenauer  
Stiftung



コンラート・アデナウアー財団  
日本事務所



Konrad  
Adenauer  
Stiftung

コンラート・アデナウアー財団は、ドイツ連邦共和国に本部を持ち、ドイツの政党・キリスト教民主同盟（CDU）と結びつきの深い政治財団です。

キリスト教民主同盟（CDU）の創設者の一人であり、ドイツ連邦共和国の初代首相でもあるコンラート・アデナウアー（1876-1967）は、戦後の西ドイツの復興やヨーロッパ統合、また社会的市場経済の実現に尽力した人物です。当財団は、コンラート・アデナウアーの政治家としての理念を引き継ぎ、国内外での様々な活動を通して、世界の平和、民主主義の普及に貢献しています。

「自由」、「正義」、「連帯」が、コンラート・アデナウアー財団の活動における基本理念です。財団の主な活動には、政治教育、シンクタンクとしての学術的な政治研究や政治コンサルティング、意見交換の場としての会議・シンポジウム等の開催、奨学金の給付といったものがあります。現在、世界に70の事務所をもち、120以上の国でプロジェクトを行っています。





日本では、80年代の終わりに、また2007年から2010年までは、シンガポール事務所や韓国事務所を通して、活動をしていました。

アジア地域、また世界における日本の経済的、政治的な重要性と日独関係の更なる強化を念頭に、2010年、財団本部は、東京に事務所を新設することを決定しました。そして、2011年10月、日本事務所が開設され、財団の日本での活動が本格的に開始されました。

日本事務所は、日本国内のプログラムだけでなく、財団が新しく導入したアジア地域経済政策プログラム (SOPAS) も担っており、財団全体の活動の中でも重要な役割を果たしています。



## 日本事務所の活動例：

### <国内のプログラム>

- 3カ国会議

Germany-Japan-Russia: Potentials for the Future (ベルリン日独センター、世界平和研究所と共催、2011年10月)

- 国際会議

紛争の拡大を未然に防ぐ対応を目指して -日本・EU協力の可能性- (欧州上級研究ネットワーク、国際協力機構と共催、2012年2月)

- 記者会見

ミヒャエル・フックス氏 (ドイツ連邦議会議員、CDU・CSU会派副議長) (日本記者クラブ主催、2012年4月)



- 日独シンポジウム

日本とドイツにおける近年の社会変化 (国際交流基金、早稲田大学日欧研究機構、新潟県立大学と共催、2012年5月)

- 専門会議

グローバルな戦略環境の変化におけるNATO：日本への意味合い (東京財団との共催、2012年7月)



## ● 講演会

フォルカー・カウダー氏（ドイツ連邦議会議員、CDU・CSU  
会派院内総務）（2012年8月）



## <SOPAS>

### ● ワークショップシリーズ

Market Economic Challenges in Asia

（開催地：バンコク、東京、デリー、2012年9月）

### ● 国際シンポジウム

持続的成長と金融の安定：社会・経済ガバナンスへの教訓

（開催地：東京、2012年10月）



### ● 国際シンポジウム

Impact of the Global Sovereign Debt Crisis on Emerging  
Countries（開催地：上海、2012年11月）



## コンラート・アデナウアー財団 日本事務所

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56

ドイツ文化会館 4階

Tel: 03-6426-5041

Fax: 03-6426-5047

E-Mail: KAS-Tokyo@kas.de

<http://www.kas.de/japan/>



東京メトロ 青山一丁目駅 4番出口 徒歩5分